

第144次製造貨幣 大試験について

理財局国庫課長 清水 雄策

平成27年11月16日、独立行政法人造幣局（大阪市北区）において、坂井財務副大臣、大岡財務大臣政務官出席の下、第144次製造貨幣大試験が行われた（執行官：坂井財務副大臣*1）。

1. 製造貨幣大試験の意義

貨幣には、通常流通している1円から500円までの貨幣と東日本大震災復興事業記念貨幣などの記念貨幣があり、これらは全て「通貨の単位及び貨幣の発行等に関する法律」に基づいて、財務省の発注により造幣局が製造している。貨幣は日常の買い物などで使われるものであるが、日々の取引で安心して使われるためには、利用者の貨幣に対する信認の維持が不可欠である。

この貨幣に対する信認は、貨幣の量目（重さのこと）等の品質が一定であることがひとつの前提となっている*2。

このため、貨幣の製造を行っている造幣局においては、日々の製造工程の中で、貨幣の量目のみならず品位・直径・厚さについて厳重なチェックを行っているが、これに加えて、発注者である財務省としても、貨幣に対する信認維持の観点から、毎年1回、実施日の14日前までに製造された通常

貨幣及び記念貨幣の量目が製造貨幣大試験要領に定められた公差の範囲内にあるかどうかを検査する製造貨幣大試験（以下「大試験」）を実施している。

この大試験は、大蔵省のもとで造幣寮（現在の造幣局）が操業を開始した翌年の明治5年（1872年）5月13日に大蔵大輔兼造幣頭井上馨を執行官として初めて開催され、今回が144回目となった。

2. 大試験の実施方法

①対象貨幣の選定

大試験において量目の秤量試験を受ける貨幣は、大試験用貨幣と呼ばれる。これは、貨幣の種類ごとに、毎日の製造枚数に応じて一定割合（通常の500円ニッケル黄銅貨幣の場合、40,000枚又はその端数につき1枚の割合）で抜き取られたもので、一週間分ごとにまとめて袋に封入・保管される。大試験当日、執行官がこの大試験用貨幣の入った袋を開封して試験を実施する。

今回の大試験には、昨年の大試験実施後の一年間に製造された500円、100円、50円、10円、5円及び1円の通常貨幣並びに東日本大震災復興事業記念10,000円金貨幣及び1,000円銀貨幣*3、地

*1) 製造貨幣大試験は、原則として財務大臣が執行官となって実施するが、今回は公務の日程等を考慮して坂井財務副大臣が執行官となった。

*2) また、貨幣の信認の維持には、量目等の品質の均一性のほか、容易に偽造できないものである必要がある。このため、貨幣には、たとえば角度を変えると数字が見えたり隠れたりする加工技術（潜像加工）など、様々な偽造防止技術が盛り込まれている。さらに、造幣局では偽造防止技術の一層の向上のための研究等も行っている。現在盛り込まれている技術の具体的内容については造幣局ホームページ（http://www.mint.go.jp/technology_index.html）をご覧ください。

方自治法施行60周年記念1,000円銀貨幣及び500円バイカラー・クラッド貨幣*4並びに新幹線鉄道開業50周年記念1,000円銀貨幣及び100円クラッド貨幣*5の計12種類（記念貨幣を図柄別（資料1）に換算すると計32種類）もの貨幣が試験に供された。

②大試験貨幣の秤量

秤量試験は、原則として一定の枚数ごとの集合秤量により行われるが、東日本大震災復興事業記念10,000円金貨幣及び1,000円銀貨幣、地方自治法施行60周年記念1,000円銀貨幣、新幹線鉄道開業50周年記念1,000円銀貨幣については1枚ごとに個別秤量が行われた。

集合秤量には大型の両皿天秤を、個別秤量には電子天秤を用いて、秤量単位ごとに量目を計測し、計測された量目と法定量目との差が、製造貨幣大試験要領に定められている公差（通常の500円ニッケル黄銅貨幣の場合、貨幣1,000枚当たり±13グラム）の範囲内にあるかどうかを確認する。

秤量結果が公差の範囲内にあることが確認され



電子天秤による秤量

れば、大試験の対象となった貨幣は、すべて適正に製造されたものと認められる。

3. 大試験の結果（確認宣言）

今回の試験結果は、法定量目との差が個別秤量で最大0.04グラム、集合秤量で最大でも1グラムであり、すべての貨種について基準を満たし、「適正」と認められた（資料2）。この結果について、執行官である坂井財務副大臣が執行結果確認宣言を行い、大試験は終了した。



両皿天秤による秤量



執行結果確認宣言

- *3) 東日本大震災からの復興事業を国民的事業と位置付け、集中復興期間の最終年度である平成27年度に4次にわたって10,000円金貨幣及び1,000円銀貨幣を順次発行している。個人向け復興応援国債を一定額以上保有している者（保有残高1,000万円毎に10,000円金貨幣1枚、保有残高100万円毎に1,000円銀貨幣1枚）に贈呈するほか、一部は造幣局による通信販売を行っている。
- *4) 地方自治法（昭和22年5月3日）の施行60周年を記念し、地域活性化の願いを込めて、47都道府県ごとのデザインをあしらった記念貨幣（1,000円銀貨幣及び500円バイカラー・クラッド貨幣）を平成20年度から順次発行している。1,000円銀貨幣は造幣局による通信販売、500円バイカラー・クラッド貨幣は毎年1月と7月に金融機関において引換えを実施している。
- *5) 新幹線鉄道が平成26年10月1日に開業50周年を迎えたことを記念し、1,000円銀貨幣及び100円クラッド貨幣を順次発行している。1,000円銀貨幣は造幣局による通信販売を実施済み。100円クラッド貨幣のうち、東海道、山陽、東北、上越及び北陸新幹線の5路線分は平成27年4月に金融機関において引換えを実施しており、山形、秋田、九州及び北海道新幹線の4路線分は平成28年4月頃に金融機関において引換えを実施予定。

(参考)

財務省 HP : <http://www.mof.go.jp/currency/coin/test/20151118.html>

造幣局 HP : http://www.mint.go.jp/koushin/topics/topics_new_20151116.html

資料1 第144次製造貨幣大試験の対象(記念貨幣)

○東日本大震災復興事業記念 10,000 円金貨幣

額面	第一次発行分	第二次発行分	第三次発行分
一 万 円			
	復興特別区域の地図とハト	学校と鯉のぼり	復興特別区域の地図、折鶴、奇跡の一本松
	第四次発行分		
	豊かな自然と鳥		

○東日本大震災復興事業記念 1,000 円銀貨幣

額面	第一次発行分	第二次発行分	第三次発行分
千 円			
	大漁船と稲穂	復興特別区域の日の出と折鶴	日本を応援する少年

○地方自治法施行 60 周年記念 1,000 円銀貨幣

額面	埼玉県	石川県	山口県
千 円			
	波沢栄一と時の鐘	兼六園の徹軒灯籠と雪吊り(夜景・ライトアップ)	錦帯橋と秋吉台
	徳島県	福岡県	和歌山県
	鳴門の渦潮と阿波おどりとすだちの花	沖ノ島と宗像大社と金製指輪	高野山 壇上伽藍
	大阪府		
	大阪城と文楽		

○新幹線鉄道開業 50 周年記念 1,000 円銀貨幣

額面	0 系新幹線と富士山と桜
千 円	

○地方自治法施行 60 周年記念 500 円バイカラー・クラッド貨幣

額面	香川県	埼玉県
五 百 円		
	ことひらぐう 金刀比羅宮から望む讃岐平野	埼玉スタジアム 2002
	石川県	山口県
	きばがた 木場潟からみた白山とキリコ祭り	るりこうじ 三じゅうのとう 瑠璃光寺五重塔
	徳島県	福岡県
	阿波おどり	九州国立博物館と 太宰府天満宮太鼓橋と梅

○新幹線鉄道開業 50 周年記念 100 円クラッド貨幣

額面	東海道新幹線 (N700A)	山陽新幹線 (500 系)
百 円		
	東北新幹線 (E5 系)	上越新幹線 (E4 系)
	北陸新幹線 (E7 系・W7 系)	

資料2 第144次製造貨幣大試験の内訳及び成績表

種類	試験対象枚数 (千枚)	選取枚数 (枚)	秤量試験枚数 (枚)	秤量枚数 (枚)	秤量試験量目 (グラム)	法定量目及び公差 (グラム)	秤量試験量目と 法定量目との差 (グラム)	試験結果
東日本大震災復興事業記念 10,000円金貨幣 (第一次発行分・第二次発行分・ 第三次発行分・第四次発行分)	45	20	10	1	15.60	法定量目 15.6 公差 0.42	0.00	適正
				1	15.60		0.00	適正
				1	15.60		0.00	適正
				1	15.60		0.00	適正
				1	15.60		0.00	適正
				1	15.60		0.00	適正
				1	15.60		0.00	適正
				1	15.61		0.01	適正
				1	15.60		0.00	適正
東日本大震災復興事業記念 1,000円銀貨幣 (第一次発行分・第二次発行分・ 第三次発行分)	140	55	10	1	31.11	法定量目 31.1 公差 0.42	0.01	適正
				1	31.10		0.00	適正
				1	31.11		0.01	適正
				1	31.11		0.01	適正
				1	31.11		0.01	適正
				1	31.10		0.00	適正
				1	31.10		0.00	適正
				1	31.10		0.00	適正
				1	31.12		0.02	適正
地方自治法施行60周年記念 1,000円銀貨幣 (埼玉・石川・山口・徳島・ 福岡・和歌山・大阪)	700	296	10	1	31.12	法定量目 31.1 公差 0.42	0.02	適正
				1	31.13		0.03	適正
				1	31.14		0.04	適正
				1	31.12		0.02	適正
				1	31.10		0.00	適正
				1	31.12		0.02	適正
				1	31.13		0.03	適正
				1	31.11		0.01	適正
				1	31.12		0.02	適正
新幹線鉄道開業50周年記念 1,000円銀貨幣	50	44	10	1	31.13	法定量目 31.1 公差 0.42	0.03	適正
				1	31.11		0.01	適正
				1	31.13		0.03	適正
				1	31.13		0.03	適正
				1	31.14		0.04	適正
				1	31.12		0.02	適正
				1	31.11		0.01	適正
				1	31.11		0.01	適正
				1	31.11		0.01	適正
地方自治法施行60周年記念 500円バイカラー・クラッド貨幣 (香川・埼玉・石川・山口・徳島・福岡)	9,823	359	300	300	2,129	法定量目 2,130 公差 7.2	△1	適正
新幹線鉄道開業50周年記念 100円クラッド貨幣 (東海道・山陽・東北・上越・北陸)	11,568	128	100	100	480	法定量目 480 公差 5.1	0	適正
500円ニッケル黄銅貨幣	128,908	3,389	3,000	1,000	7,000	法定量目 7,000 公差 13	0	適正
100円白銅貨幣	418,129	7,214	7,000	1,000	4,800	法定量目 4,800 公差 16	0	適正
				1,000	4,800		0	適正
				1,000	4,800		0	適正
				1,000	4,800		0	適正
				1,000	4,800		0	適正
				1,000	4,800		0	適正
				1,000	4,800		0	適正
50円白銅貨幣	49,018	953	900	900	3,600	法定量目 3,600 公差 20	0	適正
10円青銅貨幣	253,745	4,423	4,000	1,000	4,500	法定量目 4,500 公差 15	0	適正
				1,000	4,500		0	適正
				1,000	4,500		0	適正
				1,000	4,500		0	適正
5円黄銅貨幣	114,473	2,492	2,000	1,000	3,750	法定量目 3,750	0	適正
				1,000	3,750	公差 16	0	適正
1円アルミニウム貨幣	99,696	402	400	400	400	法定量目 400 公差 4.5	0	適正

SPO1